

---

# 着信あり・・・・・・・・ませんでした

猫山

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

着信あり……………ませんでした

### 【Nコード】

N4555BA

### 【作者名】

猫山

### 【あらすじ】

幽霊と人間の物語。

ギャグ押しです。テレビ

殺され・・・・・・・・なかつた

夏休みのとある昼下がり。

俺の家に一本の電話がかかってきた。

「む、むむむむ　ぶっ」

妙なノイズがかんに障ったので速攻きつた。布団から出てきたつてのに、しょうもなかったな。再び布団に潜り込む。

ぶるるるる。

またもや電話が鳴り響く。あちらさんも中々強情な性格のようだ。一向に鳴り止む気配がない。

だんだん腹が立ってきたので、コードを引っこ抜く。おとが止んだ。はあスツキリ。と、思ったら

ぶちっ！！　　ががが、ざー！ー！。

今度はテレビが一人でに、光をともした。

画面の中央に古井戸が映る。どこかで見た記憶があるが、如何せん。寝ぼけ頭では思い出せない。

めんどいから諦めた。リモコンどこに置いたっけ？

「きつとくる〜 なにかくる〜」

突然、テレビから歌声が流れてきた。ちよつと焦った。

注意して画面を凝視していると、ぴよこつと青白い手が井戸から飛び出す。

しばらく様子を待つと、完全に人が現れた。髪の高い女性だ。俺の予想では、かなりの美女だろう。

興味深いので、この女性の行方を見守ることにした。

するとどうだろう。テレビの液晶から女性が飛び出してきたではないか。

現代技術も進歩したものだ。3Dの名は伊達ではないらしい。

感慨深く俯く俺の首に、白い手が重なる。

きゅ。

絞められた。のだが全く苦しくない。力が入っているが弱すぎる。

だが、真剣なのは分かったので、ちよつとだけ遊んでやることにした。

、一分後。

目の前で両手を地面について、肩で大きく息をする女性の姿が確認

された。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4555ba/>

---

着信あり・・・・・・・・ませんでした

2012年1月12日11時48分発行